

# 更生保護 あおもり

【第90号】

発行日 令和2年12月  
 発行者 更生保護法人 青森県更生保護協会  
 青森県保護司会連合会  
 青森市長島1-3-25  
 電話 017(776)6419

## ごあいさつ

青森地方検察庁

検事正 山崎 耕史



青森県の更生保護に携わる関係者、関係機関・団体の皆様におかれましては、日頃から、犯罪や非行の防止、罪を犯した人や非行に及んだ少年たちの改善更生、さらには犯罪のない明るい社会を築くための活動にご尽力されていることに、心から敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

20年以上前の話ですが、私の母は、中学校教師の仕事で退職した後、しばらく保護司をしていました。そこで、本誌に寄稿させていただくに当たり、改めて、母に対して、保護司の体験を通じて感じたこと、考えたことなどを聞いてみました。

担当していた当事者が再犯に及び慌てて留置場に会いに行ったとか、面接したときの様子から順調に更生していると思っていたら実は既に問題行動に走っていたことが後でわかったとか、思うようにいかないことも多かったようです。母はしみじみ言いました。「罪を犯した人や非行に及んだ少年が立ち直っていくのは、本当に難しい」。

しかし、母は、はっきり言いました。「彼らを初めから色眼鏡で見たり、頭ごなしに叱責する



## 八戸 館鼻岸壁朝市

全長800メートル、約300店の国内最大級の朝市。3月から12月、夜明けから朝9時頃まで毎週日曜日に開催されます。海産物はもちろん農産物やパンに惣菜、スイーツ、雑貨など見て回るだけでも1時間。

会場では新型コロナウイルス対策が施され、入場にはマスク着用が義務づけられています。

【写真提供 県南ブロック・八戸地区】

ようではいけない。彼らは敏感で、すぐに相手自分が自分をどう見ているか感じ取る」。保護司として当事者と向き合ってみて、多くのケースで、彼らには安心して帰れる家庭がなかったり、仕事をしたくてもなかなか雇ってもらえなかったりという実情があることがわかったと言います。そのことが彼らの立ち直りが難しい大きな要因となっているのだということです。母は言いました。「彼らも立ち直りたいのだ。彼らを受け入れ、彼らと信頼関係を築いて初めて、彼らの立ち直りの手助けをすることができる」。

検察は、捜査・公判を通じて事案の真相を明らかにし、罪を犯した者にはきちんと処罰を受けさせるという仕事を担当しています。しかし、罪を犯した人や非行に及んだ少年もいずれ社会に戻ります。そのとき、彼らを受け入れ、寄り添い、支える人がいなければ、同じことの繰り返しになるおそれがあるでしょう。

改めて、保護司の先生方を始め、更生保護に携わる多くの方々、関係機関・団体の皆様方のご苦勞に思いを致し、心から感謝を申し上げます。検察としても、様々な面で皆様方と協力・連携し、安心・安全な社会作りに貢献していけるように努めて参りたいと考えておりますので、引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 「保護司の適任者確保のための青森県緊急対策本部」について

## 保護司が平成16年を境に全国的にも減少傾向に

青森県保護司会連合会  
会長 天内 修

令和2年2月27日付、法務省保護局と更生保護法人全国保護司連盟による「保護司の適任者確保のための緊急行動宣言」発表、同年3月12日「保護司の適任者確保のための緊急対策本部」が共同設置されました。(7月1日東北地方更生保護委員会と東北地方保護司連盟が「東北地方緊急対策本部」共同設置) これらを受け6月25日青森県保護司会連合会理事会において「保護司の適任者確保のための青森県緊急対策本部」(各地区保護司会は緊急対策チーム)設置が了承されました。9月3日青森保護観察所、青森県保護司会連合会及び各地区保護司会代表者による、第1回「保護司の適任者確保のための青森県緊急対策本部会議」が開催され、本件の認識共有と今後の活動について確認したところです。

なぜ緊急対策が必要か、近年、保護司数が減少していることは皆さんもご存じのことと思います。平成16年を境に全国的にも減少傾向にあり、平成20年頃からは毎年のように減少し、

青森県内も同様です。任期満了による退任が近い70歳代の保護司が全体の約34パーセント、何らかの事情で途中退任する保護司等を含めると10年後には保護司が半減してしまう、との危機的状況にあります。

保護司の仕事には、保護観察や生活環境調整の事件関係と市民の安全安心のための“社会を明るくする運動”をはじめとする非行防止や犯罪予防活動があります。確かに、保護観察事件等は、平成14年頃から見ますと半減していますが、これも保護司の皆様が市民に対して、毎年毎年地道に犯罪予防活動を行ってきた賜物であり、この活動を続けるためにも保護司の安定的確保が必要です。

## 保護司全員が知恵を出し合う活動を

各地区保護司会でも、緊急対策チームを立ち上げ、保護司適任者確保に向け活動していることと存じます。保護司の適任者発掘に関しては、チーム員だけでなく保護司全員が知恵を出し合い活動しなければなりません。しかも継続的です。

保護司の皆様には、知恵と行動をご協力いただきますようお願いいたします。と、ともにコロナ禍の中、くれぐれもご自愛ください。



9月3日 第1回「保護司の適任者確保のための青森県緊急対策本部会議」

県内保護司現員数				
(令和2年9月1日現在)				
地区名	定数	現員数	欠員数	充足率
青森	132	117	15	89%
弘前	78	76	2	97%
八戸	124	97	27	78%
南黒	29	27	2	93%
河内	25	22	3	88%
五所川原	61	57	4	93%
つがる	22	20	2	91%
鱒ヶ沢	20	21	+1	105%
上十三	52	41	11	79%
野辺地	43	35	8	84%
むつ下北	44	39	5	89%
計	630	553	77	88%



# 新設

# 保護司の特例的再任制度について

## 令和3年4月1日以降に退任予定の保護司が対象

本制度は、長く保護司に従事したいという希望がある場合、現行の退任日（76歳を超える再任日）に、特例的に再任することを可能とした制度であり、令和3年4月から施行となる。

青森保護観察所管内においては、令和3年度は、9月1日（現行の退任日）時点で76歳を超える保護司が特例的再任の対象となる。対象の保護司に対しては現行の退任日の数か月前に、保護観察所から意向確認をさせていただく予定。

なお、特例的再任後、78歳以降の保護司活動については制限があるので、下の保護局作成の説明文及び図を参照。

本制度に関する質問等の問い合わせは、青森保護観察所・企画調整課まで。

### 再任の上限年齢に係る特例規定の新設について

#### 【ねらい】

長く保護司を続けたいという意欲が強いにもかかわらず、誕生日と委嘱日との関係で、同年代の他の保護司よりも早く辞めざるを得ない場合があるという現状を解消し、その意欲がある場合には、等しく78歳に達するまで保護司活動を続けることができる仕組み。

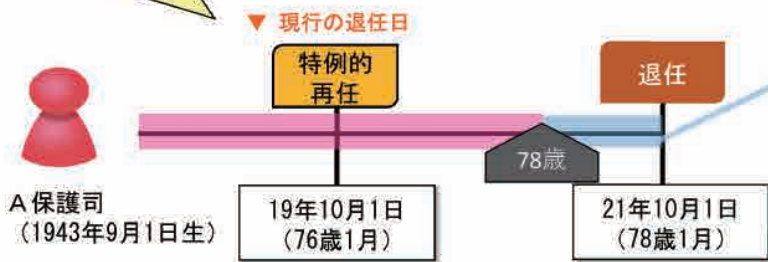
#### 【概要】

- 再任の上限年齢は76歳未満を原則とする。
- それ以降も保護司を続けたい場合は、この仕組みによる再任の意向を確認した上で、特例的に、現行の最高従事年齢である77歳11月まで（78歳になる前日まで）、従前どおり従事できる。
- 78歳に達した以降は、保護司の身分は有するが、保護観察所から保護司活動に関する個別の依頼等（事件担当の依頼、企画調整保護司や駐在保護司の指名等）はしない。
- 78歳に達した以降の再任はしない。

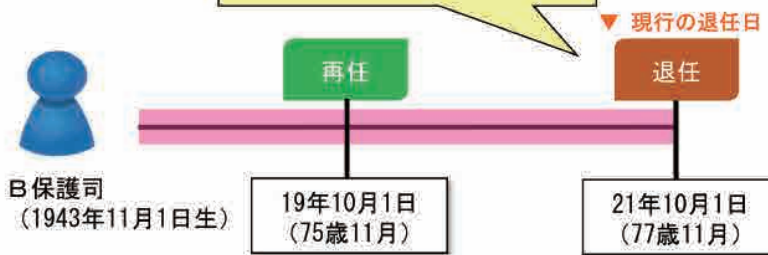
長く保護司に従事したいという希望がある場合、特例的に再任を検討

#### 78歳以降の保護司活動

- 保護司の身分は有する。
- 事件担当や役職（企画調整保護司・駐在保護司・社会貢献活動担当保護司・被害者担当保護司）指名はしない。
- 保護司会の判断により、保護司会の役職からは退く。
- ※保護司会による組織活動（地域活動、自主研修、地域処遇会議等）への参加は可能。



以降の保護司従事を望まないため、原則どおり退任



#### 【留意点】

- 76歳を超える再任日（現行の退任日）の際に、継続の意向を確認する。
- 特例的再任の際に、78歳以降は個別の活動依頼をしないことを事前告知する（78歳時に特段の告知はしない）。
- 相当の準備・周知期間を確保するため、令和3年4月1日から施行。

主唱/法務省 

# 工夫されたコロナ禍の社会を明るくする運動

～ 犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

更生ペンギンの  
サラちゃん ホゴちゃん



## 新しい発見となった社明運動

佃中学校との社会を明るくする運動連携活動は中止が決定、校舎前にのぼりを設置しての社明運動だけとなった。しかし、何かをしなればと

- ①チラシ回覧：社明運動のチラシを青森市内（浪岡も）の全町会に回覧を実施。
- ②平内町：回覧を利用して全戸に社明のチラシを配布。  
防災無線で「社明運動メッセージの放送」による広報活動。
- ③社明キャラバン隊：更生保護サポートセンターの保護司で、社明キャラバン隊を結成。  
更生保護施設プラザあすなろを出発→平内町役場前で第1分会と交流→ほたて広場→浪岡庁舎前で第5分会と交流→浪岡・道の駅アップルヒル→プラザあすなろ着



## FMアップルウェーブに森山会長が出演

今年度は、決起大会並びにメッセージ伝達式は中止となったが、地域各所に立て看板・のぼり旗を設置。6月19日(金)には地元FMアップルウェーブ「行政なんでも情報」に保護司会森山会長が出演、7月5日(日)ヒロロ・ヨロカ堂地下通路の2か所に分かれての活動。リフレット・ポケットティッシュ・メモセット等の他に手作りマスクを加えてはと早速企画調整保護司(女性メンバー)にお願いしたところ120枚のオリジナルマスクが出来上がり、3密の表示とともに配布。参加者全員がホゴちゃんTシャツにマスク着用で横断幕・幟旗を手に、テーブルに並べて持ち帰り作戦としたが、反応が今ひとつで、手渡しに変更。7月1日、2日、15日、16日の4日間に亘って市の広報車での巡回活動、初日は森山会長が同乗し、相馬、西目屋、東目屋地区を西目屋村役場ではメッセージを伝達、2日目は河西、新和、岩木地区を3日目は城西、城南、石川、安原地区を最終日は市内中心部城東、城北地区を巡回、社会を明るくする運動・更生保護活動への関心を呼びかけた。最後に作文コンテスト募集には、昨年を大幅に上回る125点応募があった。



## 路線バス車内への社明ポスター掲示

今年度は、軒並み中止・縮小せざるを得なかった。特に八戸市のビーエフエムでは、社明広報に協力頂けることとなっていたが実現できなかった。各分会ともに社明推進委員会が中止、例年のような総理大臣・県知事メッセージ伝達式・街頭啓発活動は行わず、人数を限定して各市町村を訪問して伝達。社明のぼり旗は例年通り各所へ掲示。路線バス車内への社明ポスター掲示。五戸分会では五戸町・新郷村へ依頼し、防災無線による社明運動の趣旨と理解協力を住民へ訴える広報活動を展開。ラジオ体操等でのうちわ・ティッシュ配布。「社明作文」は、例年担当保護司が各校を訪問し応募依頼、併せて連携活動について協議していたが自粛。数校より防犯教室等の依頼があったが見合わせることにした。



## のぼり旗100本をほぼ全員で黒石大橋に設置

黒石支部は、6月28日の早朝、前日に準備した黄色いのぼり旗100本を会員のほとんどの参加で黒石大橋に設置、約1か月間にわたり道行く人に運動をアピールした。また、黒石市、藤崎町、田舎館村の各支部内を、広報車で街頭啓蒙活動をしたほか、新聞広告で社明活動のPRを展開した。

各支部では、7月1日に、各市町村役場で総理大臣メッセージの伝達式が、参加者の人数も大幅に制限し行われ、黒石支部では、高樋市長に木村まゆみ副会長が立ち直りに理解をして欲しい旨のメッセージを読み上げ伝達。

毎年恒例、各地区の中学校での南黒地区保護司会のロゴ入りのエコティッシュ配布は、コロナ禍の中、各中学校に生徒さんへの配布を依頼した。



## 大鰐・平賀は地区更女会と合同でのぼり旗設置

大鰐地区は実行委員会さえも開催が見送られ、早々と大鰐町総決起大会等が中止となった。大鰐支部保護司会と大鰐地区更生保護女性会とで、6月30日のにぼり旗の設置を、7月31日には同撤収作業をした。また、7月1日に保護司会独自で学校訪問を実施、総理大臣メッセージと県知事メッセージ及び社明作文コンテスト応募要項、ティッシュ配布をお願いした。

平川地区の活動は、実行委員会が6月15日に開かれ、駅前キャンペーン活動は中止、学校訪問は、学校が再開されたばかりで体制が軌道に乗っていないとこのことで校長会から中止の要望があり、ポスター、メッセージ、作文コンテスト応募要項、保護観察件数等の資料を後日送付した。

平賀支部が平川地区更生保護女性会と合同でのぼり旗設置と撤収作業をし、ポスター掲示と撤収は保護司会で実施。尾上地区と碓ヶ関地区は保護司会のみで実施した。



**五所川原**  
地区



**郵便局・個人病院でコロナ対応の職員に感謝**

板柳分会では、例年「町を明るくする町民大会」で行っていた総理大臣メッセージの伝達を、大会中止により回覧板を通して町民の皆さんに伝えました。パンフレット・ティッシュ配布(更女会との合同)についても、スーパー店頭、集会でのキャンペーンを自衛し、郵便局、個人病院などに少人数で訪問する形をとりました。コロナ対応で苦慮なさっている職員の方々に感謝すると共に、たまたま居合わせた町民の方も交えて、社明運動でどんなことをやっているのかなど話すことができました。夏休みが終わった8月末、町内小中学校へ作文コンテストの応募作品の回収に伺った際には、教職員の方々に社明のメッセージ付きティッシュを配布。一人でも多くの先生が目にとめて下されば、と願います。予想もしなかった事態に右往左往した半年でしたが、活動の意味、どうすれば相手の心に残る活動ができるかなど改めて考えるいい時間をいただきました。来年度以降も当分は「新しいやり方」を模索することになりそうです。

**つがる**  
地区



**社明の会議で新任保護司の紹介や退任保護司に花束を**

5月25日、つがる市役所福祉課、つがる地区保護司会、つがる地区更生保護女性会の会長、副会長、事務局で社明活動の会議を人数を少なくし開催した。感染拡大防止の状況を踏まえた活動について話し合わせ、まず、市としては、社会を明るくする市民集会は中止にすることにし、過去の市民集会の様子(写真等)をホームページに掲載することとした。保護司会や更生保護女性会は毎年実施している社明活動は3密回避等コロナ感染防止を考慮して活動することとした。6月29日につがる保護司会では、4月の総会も書面総会で行い、全員が集まる機会がなかった事から「社明活動に係わる打ち合せ会議」を開催し新任保護司の紹介や退任保護司に花束を贈呈した。活動については社明作文募集を各学校長へ、社明旗設置は市役所前へ、社明声かけ学校防犯活動は各学校と協議し、社明ポスター掲示街頭活動は各学校へ配布と駅など人の目にとまる所に掲示した。各学校長の話では運動会なども中止としている事など、生徒数が一番多い学校長は父兄からのコロナ万全対策要請等もあり、声かけあいさつ運動も行えないと今年の社明運動は少し寂しい気がした。

**鱒ヶ沢**  
地区



**のぼり旗を掲げ、歩行者や車両等に手を振りアピール**

7月9日(木) 吉田深浦町長へのメッセージ伝達式に引き続き、街頭啓発広報活動を展開した。深浦町役場前において、社明運動横断幕とのぼり旗を掲げ、歩行者や車両等に手を振りアピールした。更に場所を移動し、“物産館まるごと市場”において、来客者に社明ティッシュペーパーを配付し、運動への協力と理解を求めて宣伝活動を実施した。町役場町民課長と担当者も参加し、活動に協力してくれた。7月14日(火) 鱒ヶ沢町海の駅“わんど”で平田鱒ヶ沢町長もかけつけてくれ、保護司11名と社会を明るくする運動を行った。毎年交通安全運動と一緒に大々的に実施していたが、今年は新型コロナウイルス禍の中で単独で行った。横断幕、社明運動のぼり旗を掲げながら、黄色のホゴちゃんTシャツを着用し、社明運動のタスキをして住民にアピールした。鱒ヶ沢町長が通行人へティッシュの配付をして盛り上げてくれた。

**上十三**  
地区



**社明運動ミニノートが子供たちとの架け橋に**

社明の強調月間に先駆けて保護司会と更生保護女性会会員約十数名で各市町村長へ内閣総理大臣メッセージ及び県知事メッセージを届けて運動の趣旨を伝えている。今年も、各支部役員2~3人で各市町村にメッセージを届けた。例年、大勢が集まる各市町村のイベントで啓発活動を行っている。感染拡大の影響で中止となった行事が多いため、運動の趣旨が記載されたミニノートの配布で子供たちに伝えることにした。7月の「社明運動」強調月間に合わせてミニノート1,600冊を十和田市、三沢市、おいらせ町、六戸町の各市町村教育委員会に寄贈した。ミニノートは、中学1年生を中心に配布し子供たちの非行防止を呼び掛けた。7月7日に行われた三沢市教育委員会への贈呈式では、三沢市教育委員会の取り計らいにより東奥日報、デーリー東北、三沢市ケーブルテレビ、三沢市広報担当の取材を入れて貰い、「社会を明るくする運動」の広報活動が出来た。

**野辺地**  
地区



**広いホールでの表彰式に児童・生徒・保護者も感激**

10月18日「内閣総理大臣・青森県知事メッセージ伝達式・第15回野辺地町児童・生徒書道作品展表彰式」。当初は、例年通り中央公民館ロビーでの「表彰式」の計画でした。しかしコロナ禍を考慮して会場は広いホールに変更し、さらに社明活動の一環として「伝達式」も同時開催で行うことになりました。そしてコロナ感染予防対策を整えて当日を迎えることとなりました。内閣総理大臣メッセージは野辺地町支部長から、青森県知事メッセージは野辺地地区更女会長からそれぞれ野村町長へ伝達、その後町長よりごあいさつを頂きました。表彰式では、出席した入賞の児童・生徒15名が一人ずつ登壇して支部長より賞状を受け取りました。昨年までと違い広いホールでの表彰式に児童・生徒も保護者も感激していたようです。コロナ禍の中での開催で不安もありましたが、無事終えてホッとします。野辺地町、町内書道教室、更生保護女性会の積極的な協力に感謝申し上げます。

**むつ下北**  
地区



**初めて13町内会に社明のチラシを毎戸配布**

本年の社明運動は、昨年10月から準備を進め、伝達式会場予定の風間浦中学校と大平中学校に生徒の参加及び発表依頼をした。今年の1月に日時も決定し、特に大平中学校では、当会の一人でも多くの方に社明運動を知ってもらいたいという意向を踏まえ、保護者も参加できるようにと参観日にした。しかし、新型コロナウイルスの関係で感染防止に努めながら、規模をぐっと縮小し次のとおり実施した。7月1日から2日にかけて会長、事務局2名と各地区の理事1名の計4名が、下北5市町村と3分庁舎の計8カ所を回り社明のポスター掲示、ポケットティッシュ等を窓口に置いてもらうことにした。同時に、担当課長に内閣総理大臣及び県知事のメッセージを伝達した。また、今年度は新たな試みとして、13の町内会の協力を得て社明のチラシを毎戸配布した。作文コンクールは、郡内15の中学校に依頼したところ、予想を上回る133名の生徒から応募があった。

# おめでとうございます (敬称略)

## ◆令和2年【叙勲・褒章】

### 【瑞宝双光章】

(上十三) 長谷川 良 仙 (令和2年4月29日)

(弘前) 竹 鼻 政 嘉 (令和2年11月3日)

### 【藍綬褒章】

(八戸) 工 藤 智 也 (令和2年4月29日)

(野辺地) 蛭 名 敏 彦 (令和2年4月29日)

(弘前) 高 久 由里子 (令和2年11月3日)

(八戸) 藤 田 眞佐子 (令和2年11月3日)

## 令和2年度受彰者

### 法務大臣表彰【保護司】

(青森) 石 田 康 男	(青森) 塩 原 誓 子
(青森) 中 川 隆 司	(弘前) 倉 光 稲 子
(八戸) 速 水 悦 子	(八戸) 村 松 大 誠
(南黒) 齋 藤 幸 東	(南黒) 佐 藤 池 愛 徳
(五所川原) 千 葉 幸 明	(五所川原) 菊 竹 徳
(上十三) 杉 沢 芳 信	(上十三) 篠 竹 徳
(野辺地) 築 田 信 義	

### 法務大臣感謝状【寄附者】

(株式会社藤本建設 代表取締役会長) 長谷川 清  
 (株式会社青森ブロードバンドコミュニケーションズ 代表取締役社長) 珍 田 眞

### 法務大臣感謝状【“社会を明るくする運動”民間協力者】

(野辺地) 内 藤 敏 子

### 更生保護法人 全国保護司連盟理事長表彰【保護司】

(青森) 田 中 明 子	(青森) 今 井 百合子
(青森) 佐 藤 俊 政	(弘前) 太 田 宏 見
(弘前) 田 村 清 司	(八戸) 大 和 宏 州
(南黒) 山 田 鈺 一	(河南) 阿 部 妙 子
(五所川原) 棟 方 久 雄	(つがる) 對 馬 順 子
(鯉ヶ沢) 堀 内 正 人	(野辺地) 通 駅 和 子
(むつ下北) 成 田 豊	

### 更生保護法人 全国保護司連盟理事長表彰【家族功労】

(南黒) 鳴 海 和 子 (野辺地) 築 田 美津江

### 東北地方更生保護委員会委員長表彰【保護司】

(青森) 小 林 政 英	(青森) 木 村 眞 次
(青森) 田 中 崇	(弘前) 赤 平 恵 美 子
(弘前) 佐 藤 悦 雄	(弘前) 長 内 う め 子
(弘前) 佐 藤 正 善	(弘前) 齊 藤 孝 子
(八戸) 小 橋 てる子	(南黒) 今 藤 恵 美 子
(河南) 加 藤 たか子	(河南) 丸 山 恵 子
(五所川原) 古 川 芳 市	(五所川原) 木 村 研 二
(むつ下北) 二本柳 信 行	

### 東北地方更生保護委員会委員長感謝状【寄附者】

(八戸) 八戸地区保護司会

### 東北地方更生保護委員会委員長表彰【認可事業者等役職員】

(更生保護法人 あすなる 理事) 堀 越 敏 雄

### 東北地方更生保護委員会委員長感謝状【協力雇用主】

(青森市) 青森新道路瀝材株式会社

### 東北地方保護司連盟会長表彰【保護司】

(青森) 木 村 良 一	(青森) 佐 藤 光 子
(青森) 後 藤 雅 一	(青森) 白 鳥 崎 子
(青森) 森 上 誠 豊	(青森) 山 内 照 造
(青森) 森 中 中 代	(青森) 山 本 文 彦
(弘前) 對 馬 充 明	(弘前) 山 米 澤 初 雄
(弘前) 高 嶋 豊 隆	(弘前) 米 小 三 智 彦
(弘前) 米 沢 久 和	(八戸) 池 浦 地 子
(八戸) 山 丹 波 敏 司	(南黒) 菊 相 川 順 子
(五所川原) 木 村 義 誠	(五所川原) 相 小 野 信 吾
(鯉ヶ沢) 園 村 義 正	(鯉ヶ沢) 小 築 地 龍 志
(鯉ヶ沢) 古 川 泰 良	(上十三) 小 比 類 佳 代
(上十三) 村 横 上 田 子	(上十三) 小 吉 行 三
(野辺地) 楠 フ ミ エ 進	(野辺地) 附 原 有 俊 仁
(むつ下北) 澤 頭	

### 東北地方保護司連盟会長表彰【家族功労】

(青森) 塩 原 哲 夫	(八戸) 古 村 のぶ子
(南黒) 白 戸 淳 子	(つがる) 吉 田 伸 子
(野辺地) 鳴 海 京 子	

### 東北地方更生保護施設連盟会長表彰【法人役職員】

(更生保護法人 あすなる 評議員) 柿 崎 美 恵  
(更生保護法人 あすなる 評議員) 高 屋 善 章

### 青森県知事感謝状【保護司】

(青森) 中 川 隆 司	(青森) 北 山 英 之 子
(弘前) 長 見 恒 悦 子	(弘前) 倉 中 光 和 子
(八戸) 速 水 悦 愛 子	(八戸) 中 川 内 徳 智 子
(五所川原) 菊 池 愛 芳 明 子	(上十三) 中 笹 兎 西 恭 子
(上十三) 杉 沢 芳 綾 子	(野辺地) 倉 岡 葛 子
(野辺地) 倉 岡 綾 子	(むつ下北) 葛 西 子

### 青森保護観察所長表彰【保護司】

(青森) 高 橋 俊 嗣	(青森) 徳 差 誠 悦
(青森) 藤 田 忠 貢	(青森) 田 邊 孝 武 史
(青森) 森 錢 谷 忠 雄	(弘前) 松 橋 武 史
(弘前) 前 田 武 昭	(弘前) 井 澤 康 子
(弘前) 安 相 彦 恵 美 子	(弘前) 田 黒 村 沢 子
(八戸) 川 相 馬 裕 春 男	(八戸) 田 黒 三 田 龍 康
(八戸) 秋 山 芳 輝	(八戸) 丸 中 岡 博 三 勝
(八戸) 長 岡 孝 博	(八戸) 丸 小 工 野 藤 博 子
(南黒) 工 森 篤 篤 司	(南黒) 小 工 成 野 藤 恵 理
(河南) 樋 口 哲 洋	(五所川原) 成 福 清 良 幸
(五所川原) 坂 本 悟 子	(五所川原) 成 福 清 良 幸
(五所川原) 越 谷 悟 静	(つがる) 野 呂 重 正
(上十三) 東 小 泉 國 雄	(野辺地) 濱 飯 西 隆 明
(野辺地) 小 越 膳 昌 子	(野辺地) 葛 西 隆 明
(むつ下北) 越 膳 昌 子	

### 青森保護観察所長感謝状【自立準備ホーム】

(八戸市) 株式会社明倫  
(青森市) 有限会社ミルトス・シティプランニング

### 青森保護観察所長感謝状【協力雇用主】

(青森市) 便利屋 青森ビックサービス  
(外ヶ浜町) 三厩観光開発株式会社

### 青森保護観察所長感謝状【個人】

(青森市) 浅 利 将

### 青森保護観察所長感謝状【認可事業者等役職員】

(更生保護法人 あすなる 理事) 加 藤 彰

### 青森保護観察所長感謝状【医療観察】

(八戸市) 地域活動支援センター ハートステーション



青森県保護司会連合会会長表彰【保護司】

Table listing award recipients for the Aomori Prefecture Probation Officers Association, including names and addresses from various municipalities like Aomori, Hachinohe, and Misaki.

青森県保護司会連合会会長表彰【家族功労】

Table listing award recipients for family contributions, including names and addresses from Aomori and Hachinohe.

特定非営利活動法人青森県就労支援事業者機構会長表彰【協力雇用主会】

表彰対象者: 永澤弘夫 (弘前地区協力雇用主会会長)

◎更生保護女性会員

法務大臣感謝状

(八戸) 野澤 壽代

日本更生保護女性連盟会長表彰

(むつ) 高橋 英子 (鶴田) 相川 敏子

東北地方更生保護委員会委員長感謝状

Table listing award recipients for the Tohoku Regional Probation Committee, including names and addresses from various municipalities.

東北地方更生保護女性連盟会長表彰

Table listing award recipients for the Tohoku Regional Probation Women's League, including names and addresses from various municipalities.

青森保護観察所長感謝状

Table listing award recipients for the Aomori Probation Office, including names and addresses from various municipalities.

青森県更生保護女性連盟会長表彰

Table listing award recipients for the Aomori Prefecture Probation Women's League, including names and addresses from various municipalities.

Table listing names and addresses of individuals, likely related to the BBS members or other recipients.

◎BBS会員

法務大臣感謝状【BBS会員】

(青森) 金澤 拓紀

東北地方更生保護委員会委員長感謝状【BBS会員】

(青森) 高谷 賢

青森保護観察所長感謝状【BBS会員】

Table listing names and addresses of BBS members who received awards from the Aomori Probation Office.

●敬 弔

ここに生前の御功績を偲び 謹んで哀悼の意を表します

【保護司】

訃報: 純 (八戸) 令和2年6月4日御逝去, 博 (五所川原) 令和2年6月28日御逝去, 宮崎 茂 (上十三) 令和2年7月10日御逝去, 大久保 淳 (八戸) 令和2年9月23日御逝去, 今 勝一志 (青森) 令和2年11月6日御逝去

保護司の異動

○退任保護司 長い間ありがとうございました。

(令和2年8月31日付)

Table listing retiring probation officers and their successors, including names and addresses from various municipalities.

法務大臣感謝状伝達式



8月31日付け退任保護司の法務大臣感謝状伝達式 令和2年8月20日 ラ・プラス青い森にて(青森市)

○新任保護司 今後の御活躍を期待します。

(令和2年9月1日付)

Table listing newly appointed probation officers and their successors, including names and addresses from various municipalities.

次の方々から浄財が寄せられました。  
厚く御礼申し上げます。(敬称略)

(更)青森県更生保護協会 寄附者御芳名

〈令和2年4月1日～令和2年10月30日〉

- |                     |                |                |                   |                   |                   |                     |                   |
|---------------------|----------------|----------------|-------------------|-------------------|-------------------|---------------------|-------------------|
| 黒古清中藤川中柿石成加津半鈴木天大宮加 | 瀧水村井嶋崎田川島木内坂越藤 | 信節邦満一勝勝雅恒正弘秀泰忠 | 行子博雄一郎美弘美久義史美雄修寛志 | 山沼山佐田鎌石川源小佐吉珍米武宮三 | 田田木邊田田島新平藤岡田田谷田崎浦 | 泰桃正雅孝喜代喜憲芳和育玲恵誠恵隆春順 | 仙子春久美志久正彦男子隆也眞司一子 |
|---------------------|----------------|----------------|-------------------|-------------------|-------------------|---------------------|-------------------|
- 有限会社 塚本建設  
社会福祉法人向明会  
社会福祉法人 内潟療護園  
今 歯科医院  
青森県更生保護女性連盟  
中泊町更生保護女性会

(更)青森県更生保護協会 会員御芳名

〈令和2年4月1日～令和2年10月30日〉

- 【賛助会員】 株式会社 青森銀行  
株式会社 みちのく銀行

(更)あすなろ 寄附者御芳名

〈令和2年5月1日～令和2年10月30日〉

- 加藤忠志  
八戸地区保護司会  
五所川原地区更生保護女性会  
特定非営利活動法人青森県就労支援事業者機構

随時ご寄附を承っております

ホームページをご覧ください。  
<http://www.ao-kousei.com>

青森 更生 検索

お問い合わせ

更生保護法人 青森県更生保護協会 TEL 017-776-6419

更生保護施設 プラザあすなろ TEL 017-734-6211

保護司の皆様へ

住所、連絡先、職業等変更になった場合は、  
必ず各地区の事務局へご連絡をお願い致します。

矢部太郎「保護司さんと僕」  
法務省主唱“社会を明るくする運動”コラボ CM

漫画「大家さんと僕」が大ヒット中の矢部太郎さんとコラボしたCM動画です♪「僕」が、罪を犯した人の立ち直りを支える「保護司さん」に出会い、保護司の活動に理解を深めていくストーリーです。



【法務大臣】 上川 陽子 (かみかわ ようこ)



昭和28年生まれ  
静岡県静岡市出身  
衆議院議員(平成12年初当選・当選6回)  
平成26年10月 法務大臣就任  
平成29年8月第99代 法務大臣就任  
平成29年11月第100代法務大臣就任  
令和2年9月 法務大臣(菅内閣)  
三菱総合研究所研究員  
東京大学(国際関係論)卒業  
米国ハーバード大学院  
JFケネディスクール政治行政修士修了